

- 01 株主の皆様へ
- 03 セグメント別概況
- 07 特集：アロンアルファ発売50周年記念イベント開催
- 09 トピックス



第110期 中間株主通信

2022年1月1日から2022年6月30日まで



TOAGOSEI

東亜合成株式会社

証券コード 4045

株主の皆様へ



代表取締役社長 高村 美己志

POINT

- 原燃料価格の高騰に対し、利益確保のため昨年から価格改定を継続的に実施しました。
- コロナからの経済回復の動きにともない、出荷数量が増えた汎用品や高付加価値製品もありました。一方、半導体不足をはじめとしたサプライチェーンの混乱により、自動車やスマートフォンなどで生産調整が継続し、その影響で増収減益決算となりました。
- 中間配当金は1株当たり18円とし、年間配当金は前期と同額の36円を計画。また、自己株式取得枠を、35億円から43億円に拡大しました。

Q 当第2四半期連結累計期間の概況についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間（2022年1月1日から2022年6月30日まで）の世界経済は、半導体不足をはじめ、中国でのロックダウンやロシアのウクライナ侵攻などによる、サプライチェーンの混乱や原燃料および資源価格の高騰により、先行きに対する不透明感が一段と強まりました。

このような状況下、当社グループは原材料の安定調達や価格上昇への対応を実施し、事業活動を継続いたしました。その結果、売上高は779億7千7百万円（前

年同期比5.1%増収）、営業利益は78億9千1百万円（前年同期比12.5%減益）、経常利益は93億8千7百万円（前年同期比4.6%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73億9千1百万円（前年同期比5.4%増益）となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は40億5千2百万円減少し、営業利益は3千1百万円減少しております。

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

A 第3四半期以降の経済状況は、ロシアのウクライナ侵攻、サプライチェーンの混乱、原燃料および資源価格の高騰などにより、不透明感は解消されず厳しい状況が続く見込みです。

このような前提のもと、売上高は1,600億円（前期比

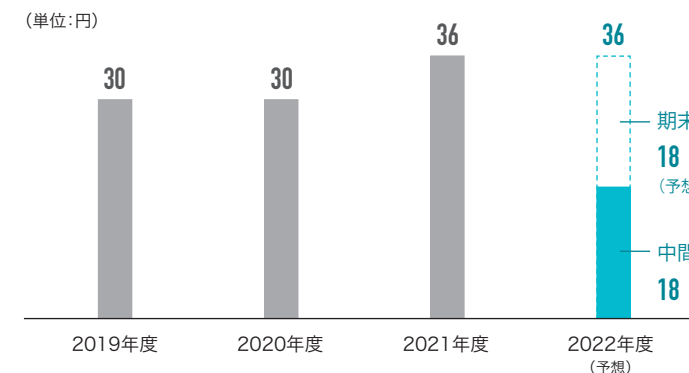
2.4%増収）、営業利益は170億円（前期比3.8%減益）、経常利益は185億円（前期比2.5%減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は130億円（前期比5.6%減益）を予想しております。

Q 利益配分についてお聞かせください。

A 株主還元につきましては、連結配当性向30%程度・連結総還元性向50%程度を目標に安定的な配当の継続と連結総還元性向の向上を図ることを基本的方針としております。

当期は、親会社株主に帰属する四半期純利益が増益となりましたため、中間配当金は前年同期比1円増配の1株当たり18円といたします。なお、年間配当金は前期と同額の1株当たり36円とする予定です。また、1月31日に35億円の自己株式取得を発表しておりましたが、株主の皆様へのより一層の利益還元の観点から、7月29日に、取得枠を43億円に拡大することを発表しました。

1株当たり年間配当金の推移



● 予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。

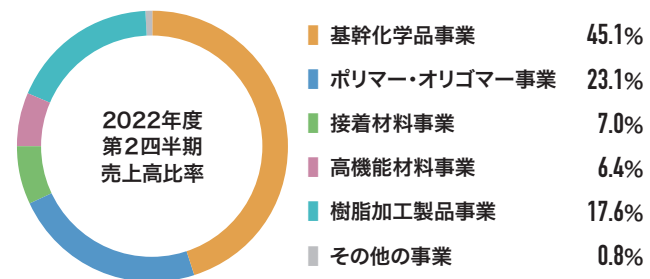
セグメント別概況

セグメント別売上高・営業利益

(2022年度第2四半期)

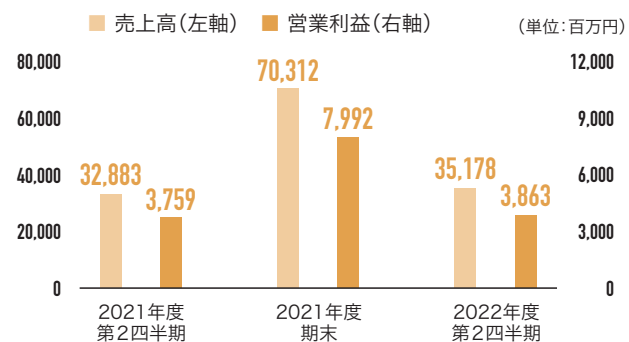
	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
■ 基幹化学品事業	35,178	3,863
■ ポリマー・オリゴマー事業	18,000	2,300
■ 接着材料事業	5,430	59
■ 高機能材料事業	4,983	1,145
■ 樹脂加工製品事業	13,708	812
■ その他の事業	675	△ 289

セグメント別売上高比率



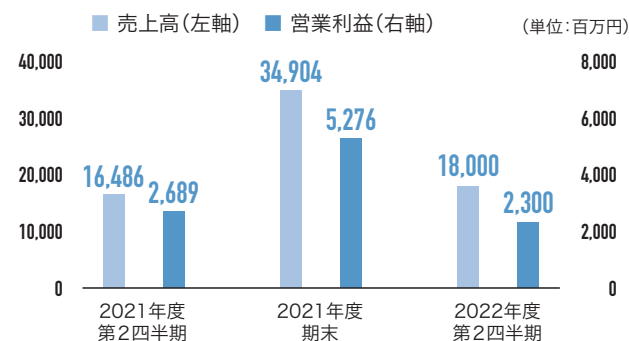
■ 基幹化学品事業

電解製品は、前年並みの販売数量となりましたが、価格改定がすすみ増収となりました。アクリルモノマー製品は、自動車減産の影響もありましたが、価格改定により増収となりました。工業用ガスは、収益認識会計基準等の適用により、減収となりました。



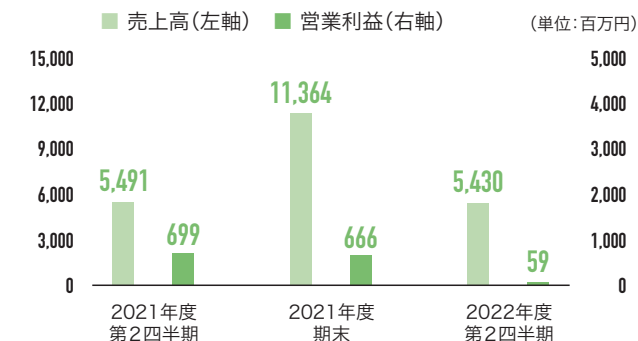
■ ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車産業向けの販売数量減により減収となりました。アクリルオリゴマーは、中国でのロックダウンによる需要減の影響がありましたが、インキ用途や電子製品向け出荷が堅調で増収となりました。高分子凝集剤は、他社からの販売事業の承継もあり増収となりました。



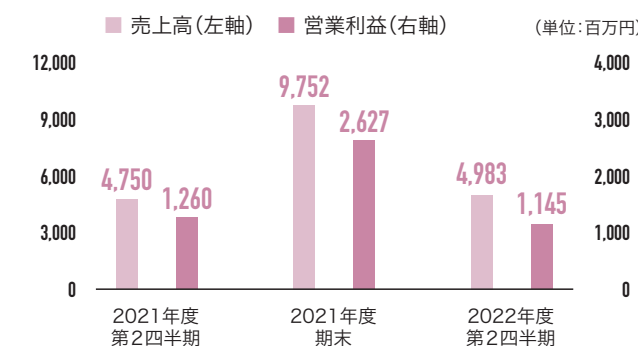
■ 接着材料事業

家庭用は、国内での厳冬の影響によるホームセンターなどの来店客数減の影響があり減収となりましたが、海外での増販および円安の影響で前年並みの売上となりました。機能性接着剤は、車載用電池で新規採用がありましたが、中国でのロックダウンによる電子デバイス等の生産減の影響を受け、販売数量減となり減収となりました。



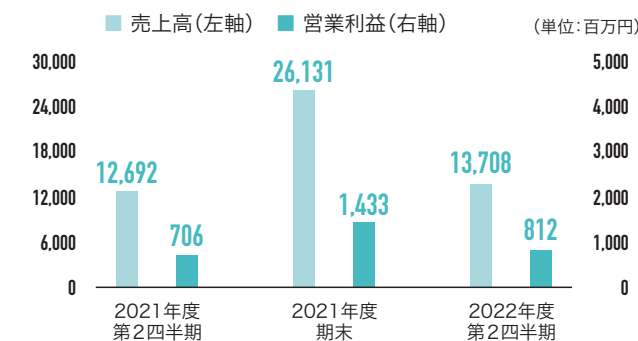
■ 高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体向け出荷が好調で増収となりました。無機機能材料は、前年並みの売上となりました。



■ 樹脂加工製品事業

管工機材製品は、原燃料価格の上昇に伴う価格改定により増収となりました。建材・土木製品およびライフサポート製品は前年並みの売上となりました。エラストマーコンパウンドは、自動車関係での新規採用があり増収となりました。



連結財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2021年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2022年6月30日)	増減額
流動資産	145,168	143,513	△ 1,655
固定資産	113,787	124,356	10,569
1 資産合計	258,955	267,870	8,914
流動負債	36,737	40,605	3,868
固定負債	15,605	15,968	362
負債合計	52,343	56,574	4,231
純資産	206,612	211,296	4,683
負債純資産合計	258,955	267,870	8,914

損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月 1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	増減額
売上高	74,164	77,977	3,813
売上総利益	22,274	21,908	△ 365
販売費及び一般管理費	13,253	14,017	763
2 営業利益	9,021	7,891	△ 1,129
経常利益	9,840	9,387	△ 453
特別損益	△ 62	791	854
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,015	7,391	375

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月 1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)	増減額
3 営業活動によるキャッシュ・フロー	13,591	11,190	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,283	△ 9,270	
4 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,276	△ 6,147	
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,135	42,980	

POINT 1

資産合計は、「土地」および「棚卸資産」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ89億1千4百万円、3.4%増加し、2,678億7千万円となりました。

POINT 2

営業利益は、原燃料価格の高騰に対し、原材料の安定調達や販売価格の改定などを実施したものの、前年同期に比べ11億2千9百万円減少し、78億9千1百万円となりました。

POINT 3

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産および法人税等の支払額が増加しましたため、前年同期に比べ収入が24億円減少し、111億9千万円の収入となりました。

POINT 4

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が38億7千万円増加し、61億4千7百万円の支出となりました。

連結財務ハイライト

2022年度第2四半期

(単位:百万円)



特集 アロンアルファ発売50周年記念イベント開催



1971年に誕生した家庭用アロンアルファは、おかげさまで2021年に発売50周年を迎えることができました。記念すべき節目の年を迎えることができたのもお客様のご愛顧とご支援の賜物と心より厚く御礼申し上げます。無事に50周年を迎えられたことへの感謝の思いを込めて、このたび、記念イベントを開催いたしました。



夏休み工作イベントを開催しました

2022年夏、東亜合成グループの拠点がある地域のホームセンターで「アロンアルファ発売50周年記念夏休み工作イベント」を実施しました。イベントには多くのお客様にご来場いただき、未来のユーザーであるお子様には「何かを作る楽しさ」を、保護者の方には「素敵な思い出の品を直せる喜び」をアロンアルファで体験していただきました。

これからもアロンアルファは「くっつけたい」気持ちに寄り添い、新たな価値創造の提案をしていきます。

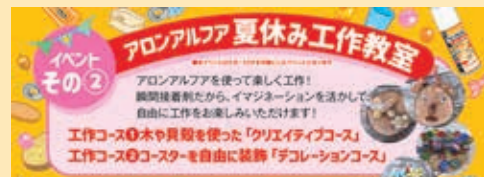
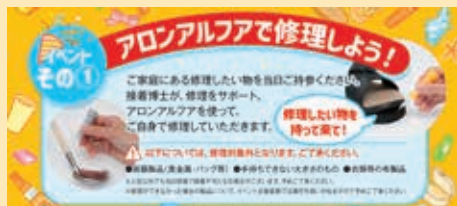
イベント開催日・開催場所

開催日	開催場所
7/16・17	埼玉
7/23・24	富山・北海道
7/30・31	福岡
8/6・7	福島
8/20・21	大阪
8/27・28	愛知・香川

実施内容

イベント1 「アロンアルファで修理しよう！」

イベント2 「アロンアルファ夏休み工作教室」



木や貝殻を使った
「クリエイティブコース」



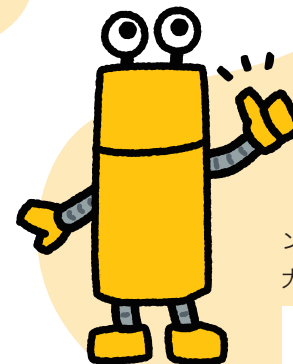
コースターを自由に装飾
「デコレーションコース」

アロンアルファ ブランドムービー 「今日も、くっつく感動を」

約4分の動画でアロンアルファ
生誕から50年の歴史を振り返り
ます。



動画は
こちらから
CHECK!



公式キャラクター 「ピタロン」

アロンアルファ発売50周年を機にアロンアルファを世に広めるべく誕生した工作大好きなロボット。

公式Twitterではピタロンがアロンアルファのお役立ち情報等を紹介しています。



公式Twitterは
こちらからCHECK!

柔道家のウルフアロン選手にTVCMに出演していただきました

きっかけは約2年前、ウルフアロン選手の「そろそろアロンアルファのCMに出してください。」というTwitterでのつぶやきでした。2021年秋に新発売した新商品「タフパワー」の特長である「これまでにない強さ※」をPRするためにCM出演をオファーしたところ、共演が叶いました。ウルフアロン選手を通して、「速い!」「強い!」というアロンアルファ最大の特長を表現する、夢の「アロン」同士の共演がついに実現しました。

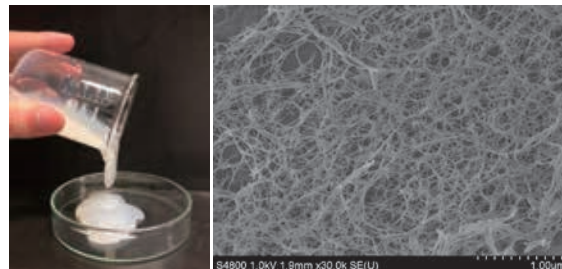
※耐水性・耐熱性において



トピックス

CNF (セルロースナノファイバー)、様々な分野へ用途展開

当社がもつ高濃度次亜塩素酸ナトリウムを利用して得られるCNFは、CO₂の排出と製造コストを大幅に削減できることが特徴です。2020年11月の発表直後から多くの反響をいただき、現在も様々な分野に向けて用途開発を進めています。



当社開発の酸化セルロース「アロンフィプロ®」

例えば、透明フィルムに少量のCNFを混ぜることで、透明性を損なうことなく薄く高強度なフィルムにすることができます。また、リチウムイオン電池の導電助剤に使用されるカーボンナノチューブの分散剤として使用することで、従来よりも導電性を高められることも分かりました。引続き用途開発を進め、カーボンニュートラルな世界の実現に貢献していきます。

歩行車 リトルターンZ

歩行の安定性確保で使用される歩行車に、手だけでなく腕も使って上半身を支える台がついた前腕支持タイプがラインアップに加わりました。コンパクトな製品サイズと小回りを補助するローラー機能により、狭い家の廊下でも一人で移動が可能です。また、立ち上がりを補助するグリップ機能によりベッドや椅子から安定して立ち上がることができ、これによりスムーズに歩行車を使用することが可能です。左右に折り畳みができるので、コンパクトに収納できる点も便利です。

▶アロン化成の介護用品は介護ショップ等でお買い求めいただけます。



会社の概要および株式の状況

(2022年6月30日現在)

会社概要

本店所在地/〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号

電話 (03)3597-7215(代表)

創立/1944年7月17日

資本金/20,886百万円

従業員/連結2,546名 単独1,355名

取締役

代表取締役社長	高村 美己志
代表取締役副社長	石川 延宏
取締役	美保 享
取締役	木村 正弘
取締役	芹田 泰三
社外取締役	小池 康博
社外取締役	森 雄一郎
社外取締役	古川 英俊
取締役(監査等委員)	鈴木 義隆
社外取締役(監査等委員)	高野 信彦
社外取締役(監査等委員)	石黒 清子
社外取締役(監査等委員)	安田 昌彦
社外取締役(監査等委員)	團野 耕一

株式の状況

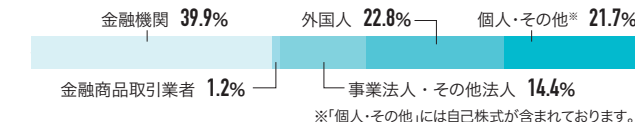
発行可能株式総数	275,000,000株
発行済株式総数	125,200,000株
株主数	18,096名

大株主の状況

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,523	13.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,312	5.91
株式会社三井住友銀行	5,818	4.70
東亜合成取引先持株会	4,824	3.90
東亜合成グループ社員持株会	2,870	2.32
株式会社三菱UFJ銀行	2,824	2.28
農林中央金庫	1,972	1.59
大樹生命保険株式会社	1,845	1.49
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,829	1.48
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,802	1.46

出資比率は、自己株式(1,386,612株)を控除して計算しております。

株式所有者別分布状況



当社Webサイトのご案内

情報充実の当社Webサイトをぜひご覧ください

東亜合成Webサイトトップページ
<https://www.toagosei.co.jp/>

東亜合成

検索



トップページ



個人投資家の皆さまへ



アンケートにご協力ください

抽選で「アロンアルファ®」と「はがし隊」をプレゼント!!



株主アンケート

アンケート実施期間 **2022年9月30日まで**

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、右記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用（郵便料金など）の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン（IR支援会社）が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail:kabuhiro@irjapan.co.jp

アンケートサイト（画面）への接続方法

Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

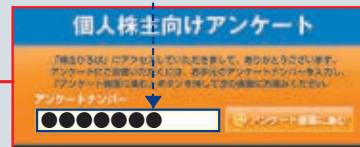
株主ひろば 検索 URL <https://kabuhiro.jp/>

ご回答方法

アンケートサイト (<https://kabuhiro.jp/>) 画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。



アンケート
ナンバー



株主メモ

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞（東京）に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-782-031**（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について（特別口座の株主様）

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

■ホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・口座振替申請書 ・単元未満株式買取請求書（特別口座用）
- ・配当金振込指定書（特別口座用） ・変更届（住所・氏名・届出印等）

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。